

総合人間科学 数 学

1 構 成 員

	平成21年3月31日現在
教授	1人
准教授	0人
講師（うち病院籍）	0人（ 0人）
助教（うち病院籍）	0人（ 0人）
助手（うち病院籍）	0人（ 0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（ 0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	1人

2 教員の異動状況

野田 明男（教授）（H3. 8. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成20年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1編（ 1編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（ 0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0編（ 0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（ 0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 野田明男：ある漸化式から生じる数の集合について (1)平均値とメディアン，浜松医科大学
紀要 一般教育，23:1-10，2009

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成20年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成20年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件 (0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	0件
(6) 一般演題発表数	0件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成20年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成20年度
産学共同研究	0件

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 等比数列とフィボナッチ数列の漸化式を組み合わせることによって、関数列 $f_n(t)$ を定義し、数の集合 $S_k = \{n; \text{degree of } f_n = k\}$ を統計的な観点から研究する。 S_k の平均値はやさしい問題だが、メディアン（中央値）の位置を見極めるのが難しい。階層をなす集合 S_k の要素は、 S_k から S_{k+1} への単射である3通りの写像 $p_0(n) = 2n$, $p_1(n) = 4n - 1$, $p_2(n) = 4n + 1$ によって表現され、 S_k 内の大小関係は p_0 の使用回数に依存する。こうして、成功の確率 $1/3$ の2項分布の上側確率を評価する問題に至る。よく知られた中心極限定理ではなく、Paulson近似公式を応用することによって、メディアン（中央値）の漸近挙動（ $k \rightarrow \infty$ のとき）を解明することに成功した。このすぐれた近似公式のさらなる有効性を、今後も追求して行きたい。